

ウェブサイトからもお申込みいただけます ▶ <https://inclusive-society.net/>

【共生社会フォーラムin徳島 参加申込書】

ご記入いただいた個人情報は、
本事業以外の目的には使用いたしません。

法人名 (事業所名) または学校名			
連絡先	住所	〒	
	電話番号		FAX
	E-mail	@	

参加希望コース ☐ にチェックの上、 コース③ 希望者は必ず「中堅」または「学生・新任者」に○		参加者氏名・ふりがな お名前の上にふりがな	コース② 職種・職階 コース③ 職種・職階・福祉職経験年数 学生の場合:学部・学科・学年	コース① 希望者は記入不要
☐ コース① 一般プログラム ☐ コース② 企業向け研修 ☐ コース③ 福祉職向け研修 中堅 / 学生・新任者		代表者(連絡窓口)		
☐ コース① 一般プログラム ☐ コース② 企業向け研修 ☐ コース③ 福祉職向け研修 中堅 / 学生・新任者				
☐ コース① 一般プログラム ☐ コース② 企業向け研修 ☐ コース③ 福祉職向け研修 中堅 / 学生・新任者				
推薦欄※	【第1分科会(中堅)の研修希望者がいる場合のみ】研修希望者は、福祉職・教員・行政職として おおむね5年以上 の現場経験を有し、福祉施設・事業所・学校・自治体等の職場において 職員を指導・助言する立場にある ことを保証し、また以下の理由で研修への参加を推薦します。			
	《推薦理由》 (推薦者)法人名等・役職・氏名			
備考欄 ※情報保障やバリアフリー対応について配慮が必要な場合はこちらにお書き添えください。				
状況によりご希望どおりの対応ができない場合があります。その際はあらかじめご連絡いたしますので、ご了承ください。				

※ **コース③** 福祉職向け研修の第1分科会(中堅)参加希望者は、
所属の施設・事業所、社会福祉協議会、社会福祉法人経営者協議会、学校長・教育委員会、自治体等から推薦を得てください。

(公財)糸賀一雄記念財団 FAX: 077-567-1708 E-mail: itoga-oubo@itogazaidan.jp
〒525-0072 滋賀県草津市笠山7丁目8-138滋賀県立長寿社会福祉センター内 TEL: 077-567-1707

【厚生労働省主催】令和7年度 共生社会等に関する基本理念等普及啓発事業

共生社会 フォーラム

in 徳島 2025 [中国・四国
ブロック]

福祉の思想に学び、実践し、語る人に

表現活動 墨山あゆみ&わいわい楽団 / 基調講演 奥田知志氏 認定NPO法人抱樸

2026(令和8)年1月22日(木)・23日(金)

アスティとくしま (徳島市山城町東浜傍示1-1)

定員100名 (一般参加 70名 / 企業向け研修 10名 [1/22のみ]
福祉職研修 20名 [中堅12名 / 学生・新任者8名(両日参加)]) 参加無料
【要申込】

実施 公益財団法人 糸賀一雄記念財団、共生社会フォーラムin徳島開催委員会
社会福祉法人 徳島県手をつなぐ育成会

申込・問合せ 公益財団法人 糸賀一雄記念財団 HP <https://inclusive-society.net/>
〒525-0072 滋賀県草津市笠山7丁目8-138 滋賀県立長寿社会福祉センター内
TEL 077-567-1707 FAX 077-567-1708 E-mail itoga-oubo@itogazaidan.jp

社会情勢に応じ、マスク着用、手指消毒、検温へのご協力をお願いすることがあります。

全ての国民が、障害をはじめとする生きづらさの有無によって分け隔てられることなく、人の尊厳の輝きを認め合いながらともに生きる共生社会の実現が求められています。しかしながら、社会の一部には、障害を有する方に対する否定的な意見や偏見が一定数存在することを踏まえ、共生社会を実現させるためには、その基本理念について福祉分野をはじめ広く社会に普及させる必要があります。誰もが等しく基本的人権を享有するかけがえのない個人として尊重されるものであるという理念等について学び、自らの実践につなげ、さらには所属や地域社会に向けて普及啓発していく人材の養成研修を組み込んだフォーラムを実施します。

コース

共生社会フォーラムは、大きく3つのコースに分かれています。
コース①・コース②は、共生社会や多様性に関心ある福祉業界以外の方もふるってご参加ください。

コース① 一般プログラム
対象:どなたでも

表現活動鑑賞や基調講演、映像プログラム
表現活動を鑑賞し、基調講演では共生社会の実現に向けて先駆的に取り組みを推進する実践者からお話をうかがいます。映像プログラムでは、日本の障害福祉の父と言われる「糸賀一雄」の思想と実践について学びます。
***1日目14:00までのプログラムに参加**
定員 **70名**

コース② 企業向け研修
対象:企業経営者・管理職等

共生社会づくりリーダー養成研修
SDGsや多様性の求められる現代、誰もが働きやすい職場にしていけるのは非常に難しいものです。そこで、日常的にケアを通じて多様な人とのコミュニケーションを図っている福祉業界の技術や福祉の思想・視点を学ぶプログラムです。
***1日目14:00以降のプログラムに参加**
コース①とダブル受講を推奨します
定員 **10名**

コース③ 福祉職向け研修
対象:福祉職・学生

共生社会における語り部等養成研修
津久井やまゆり園事件を契機に、福祉に携わる人々の資質や対話のあり方が問われています。対象別に2つの分科会(下部参加申込方法参照)にわかれ、共生社会の基本理念について考え、普及啓発のための語り部を目指すプログラムです。
***2日間すべてのプログラムに参加**
定員 **20名**
(第1分科会12名/第2分科会8名)

参加申込方法

裏面申込書(FAX/Eメール)またはウェブサイト(<https://inclusive-society.net/>)にてお申し込みください。
申込締切:令和8年1月9日(金) ※定員になり次第、締め切りとします。

いずれのコースも事前申込が必要です。裏面申込書(FAX/メール)またはウェブサイトの申込フォームに必要事項を記入し、お申し込みください。「**コース①一般プログラム**」と「**コース②企業向け研修**」に参加条件はありませんが、「**コース③福祉職向け研修**」は右の条件を満たす方が対象です。また、**コース③福祉職向け研修**参加者には事前に資料をお送りします。あらかじめ資料を読んで研修に臨んでください。

<第1分科会> 福祉支援語り部(中堅)
福祉職や教員および行政職としておおむね5年以上の現場経験を有し、職場で中堅職員、管理者等として職員を指導・助言する立場にある人。研修を経て共生社会の基本理念を職場内で実践し、語り広めることが期待できる人で、所属の施設・事業所、社会福祉協議会、社会福祉法人経営者協議会、学校長・教育委員会、自治体等から推薦された人。
<第2分科会> 学生・新任者
在籍する学部等を問わず、福祉に強く関心がある大学生等。または、福祉施設・事業所等に就職しておおむね数年以内の新任者や内定者。

登壇者プロフィール

墨山あゆみ&わいわい楽団
障がい者支援施設、春叢園の仲間達で結成したクリーミーパウダーバンドのボーカルとして活動をしていましたが、近年は徳島の精鋭ミュージシャンのサポートで墨山あゆみ&わいわい楽団として徳島県内のイベントに参加し、多岐にわたり歌声を響かせている。バンド活動を通して「人生とは何だろうか、個性とはなんだろうか、楽しむとは何だろうか、輝くとは何だろうか」そんなことを支援者と共に考えながら活動を続けています。クリーミーパウダーのような柔らかくてふわふわした優しい歌声を楽しんでいただけたら幸いです。

タイムテーブル

▶▶ 1日目 令和8年1月22日(木)		
	コース① 一般プログラム	コース③ 福祉職向け研修
10:00 - 10:10	開会あいさつ	
10:15 - 10:55	表現活動 墨山あゆみ&わいわい楽団	
11:00 - 12:00	基調講演 「いのちに意味がある ～私たちは何を大切にしてきたのか～」 奥田 知志 氏	
13:00 - 14:00	映像プログラム NHKスペシャル「ラストメッセージ この子らを世の光に(※)」	
※コース①は、14:00で終了		(14:00 - 14:15 会場移動・休憩)
14:15 - 17:30	コース② 企業向け研修 ミニ講義+グループセッション 福祉の世界に学ぶ講義(障害福祉を拓いた先人の実践と思想、ビジネスや企業経営に活かす福祉の視点等)および障害者や生きづらさのある人の雇用をテーマとしてPCAGIP(ピカジップ)法を用いた対話型のグループセッションを通じて多様な人とのコミュニケーションを学びます。	

▶▶ 2日目 令和8年1月23日(金)	
コース③ 福祉職向け研修 受講者のみ対象	
9:30 - 12:00 コース③対象	グループワーク研修② (第1分科会「福祉支援語り部(中堅)」/第2分科会「学生・新任者」) 第1分科会では、やまゆり園での事件を題材に、“生きる意味のない命がある”“障害者は社会に不幸をもたらすだけ”という考えに同調する意見などに返す言葉をもつためのワークを行います。第2分科会では、NHK Eテレ「バリバラ」の出演などで知られる玉木幸則氏とともに、“そもそも障害とはなんだろう?”をテーマに率直に語り合います。
13:00 - 15:00 コース③対象	グループワーク研修③ (第1分科会「福祉支援語り部(中堅)」/第2分科会「学生・新任者」) 第1分科会ではグループワーク研修①や②を踏まえて、それぞれが自らの職場に戻って語りの場を持つことができるよう、メンターのサポートを受けながらアクションプランを作成します。第2分科会では、グループワーク研修②の議論を引き継ぎながら、玉木幸則氏とともに、“学生一人ひとりが抱える生きづらさ”を言葉にしながら、“福祉=幸せの追求”や“そもそも人が生きること”について、向き合います。
15:00 - 16:00	全体共有・講評/まとめ・ふりかえり/閉会あいさつ

※ラストメッセージ この子らを世の光に
日本初の公的福祉施設「近江学園」設立に尽力した糸賀一雄と彼を支えた池田太郎や田村一二らについて紹介。障害のある子どもたちと寝食を共にし、生き生きと暮らす糸賀や職員たちの姿を記録した当時のフィルムに映るのは、まさに「福祉」の原点と言える。